波照間小中学校HP

んぎしたお～りょ～

※島の言葉で「いらっしゃい」「ようこそ」

波照間島は、日本最南端の有人島で綺麗な海、明瞭な星空や緑豊かな自然が観光の資源にもなっている。人口は約500人で、島への交通手段は石垣島からの船便で、所要時間は70分～100分である。

島は北・南・前・名石・冨嘉の５つの集落があり、神事祭事等、伝統行事が盛んに行われ、基幹産業としては、製糖工場があり、サトウキビの製糖期は人手が足らず、援農として県外からも就労に訪れている。

また、年間を通して温暖な気候で、自然に魅了された観光客が多く、ペンションや民宿、マリンレジャー等の観光業も盛んである。島の主な公共施設等は小中学校、幼稚園、保育所、公民館、駐在所、診療所、歯科診療所、郵便局、役場出張所、保健センター、共同売店、給油所、酒造所、海水淡水化施設、排水処理上、焼却場等がある。島では山羊の飼育が盛んに行われている。

波照間小中学校は、全面芝生の綺麗な緑のグラウンドを備えた敷地に、令和２年度に新校舎に建て替えられた学習施設と、今年で創立129年目を迎える歴史と伝統ある学校である。

今年度は、小学校３・４年、５・６年、中学校１・２年生が複式学級で、それ以外は単式学級となっております。児童生徒数は小学校が36人、中学校が16人、合わせて52人の小中併置校である。教職員数は21人で、教員宿舎も完備されている。

学校では、地域人材を含む地域資源素材を効果的に活用した学校経営と竹富町が推進する「海に親しむ・海を知る・海を活用する・海を守る」教育活動の「海洋教育」に積極的に取り組み、自然に恵まれた癒しある地域、癒しある学校で「島と海と地域を愛し、共生・協働じりつできるウタマ（島の言葉で「子ども」）」の育成を目指している。

もちきび刈り体験

栄養満点美味しい給食

山羊の飼育

生活支える５つの売店

黒糖作り

保護者や地域の方と一緒に
校歌ダンス（運動会）

海洋教育の充実

日本最南端の学校

竹富町立波照間小中学校